

令和3年度 環境で地方を元気にする 地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業 キックオフミーティング 発表資料

活動団体の本事業への関わり

今年度より“環境整備“に取り組む	✓
昨年度から引き続き“環境整備“に取り組む	
昨年度までの“環境整備“を経て、今年度より事業化に取り組む	
昨年度までの“環境整備“と“支援チーム派遣(事業化支援)”を受けて引き続き事業化に取り組む	

活動団体名：米沢市

活動地域：山形県米沢市

活動におけるテーマ・キャッチコピー

なせばなる 上杉鷹山流のローカルSDGs

活動団体紹介

山形県 米沢市



上杉鷹山

米沢牛



人口8万人のまちに
3つの大学
学園都市米沢



ありたい地域の未来を実現するために何をするか

ありたい地域の未来

なせばなる 上杉鷹山流のローカルSDGsの実現

課題（地域の課題、ありたい未来を達成するための障害など）

- ・人口減少、高齢化
- ・地域資源を活用しきれていない

資源（活用できる地域資源、必要な資源、地域外の資源など）

- ・家畜排せつ物資源
- ・歴史資源
- ・里山資源
- ・森林資源

取組（ありたい未来達成に必要な取組、現在想定している事業のタネ）

- ・家畜排せつ物資源を用いたバイオマス発電
- ・やまが炭や薪ストーブなど、森林資源の活用
- ・環境問題やSDGsに関する学習会

成果（取組によって出したい成果）

- ・地域資源の有効活用
- ・雇用の創出、交流人口や関係人口の増加
- ・自然環境保全意識の高揚

目指す“地域プラットフォーム”のイメージ

現時点での体制

各団体間のつながりや連携が不十分である。

想定している体制・ステークホルダー

- ・ 米沢市（プラットフォーム構築、全体調整、事務局）
- ・ 市民活動団体（環境保全 など）
- ・ 産業活動団体（事業化への取組、雇用の場の創出 など）
- ・ 高等教育機関（学術面からの助言 など）
- ・ 金融機関（経済面からの事業内容分析、事業実施可能性の検討 など）

※必要に応じて随時ステークホルダーの巻き込みを行う。

環境整備を通して構築する“地域プラットフォーム”のイメージ

- ・ より多くの人との共有化を柔軟に進めていく。
- ・ ステークホルダー同士のつながりを作る。
- ・ SDGs の考え方の共有を目指す。
- ・ 米沢市のSDGsを推進する中核組織として、「（仮称）米沢市SDGs推進協議会」を創設し、プラットフォームとの連携を図る。

年間スケジュール（参考資料）

